

## 令和2年 林業における死亡労働災害（北海道内）

番号	災害発生日時等	年齢等	災害発生状況
2年 NO1	1月13日 午後3時頃	男 37歳  経験18年	被災者は、国有林内で同僚4名とチェーンソーを用いて、それぞれの持ち場で伐木作業を行っていた。近くで作業をしていた同僚が被災者のチェーンソーが転がっているのを見つけ様子を見に行ったところ、伐倒木（樹種：カラマツ、樹高約20メートル、胸高直径：26センチメートル）の下敷きになっている被災者を発見した。 退避、周囲の状況確認に問題があったものと推測される。
2年 NO2	5月14日 午後2時頃	男 64歳  経験20年	被災者は、農地の防風林伐開作業において、樹高約24.4メートルのヤチダモを伐倒していたところ、幹が裂けて跳ねあがり、頭部に激突したものの。 追い口、受け口の作成及び退避に問題があったものと推測される。
2年 NO3	6月29日 午前10時頃	男 72歳  経験40年	被災者は、民有林の皆伐現場において、チェーンソーを使用してカラマツA(胸高直径37センチメートル、樹高25メートル)の伐倒作業を行っていたところ、当該木の上方が別のカラマツB(胸高直径20センチメートル、樹高17メートル)とつるがらみになっていたためカラマツA倒れた際にカラマツBも根むくれしていたため同時に倒れ、被災者がカラマツBの下敷きになったもの。 伐倒前の上方の確認、切り残し部分に問題があったものと推測される。
2年 NO4	12月16日 午後0時頃	男 66歳  経験4年	被災者は、単独で民有林の枝払い作業を行っていた。後日、立木（トウヒ、胸高直径19センチメートル）のそばで倒れているのを同僚に発見されたもの。なお、立木には、高さ1.1メートルの脚立が立掛けられていた。 立木上で枝払い作業中、バランスを崩して墜落したものと推測される。